机右抄

九

中村俊定文庫
文庫 18
1015
9

京極田図書
中村俊定文庫

机右抄第九

蚊行

山科里 安仁 山識

先年京にあり侍りて世の中むさ[illegible]ひ
なりて住かへりける

宮

入道家

ともかくも世にありながら山科の里にも我身[illegible]と

藤原家音

日

やし

山科の里の[illegible]の人家ハ宮にかつらハいつ[illegible]

西備

於近所

山科の里の岩根に松をうへてこ[illegible]ハ新つ[illegible]

同

岩

松

[illegible]

蓬莱抄
ゆかしさはゆくへもしらぬあらしにもたえて山科の里
見わたせば山科のさとの梅の花
花盛なる宮のうちにもありしこそせ
ゆかしくもあるかな　　和歌所

梅　風雅集一
梅の香をあけぬとにほふ風のたよりもきくかな　　後伏見院

高瀬　新後拾遺
山科の音羽の川の流にも高瀬よりこそ　　公雄

本情　同
昔人の道をこそ山科の本情の里の秋のゆふぐれ　　後京極摂政

里　月清
納まる山科の木幡の里の　　同

鹿　大本
山科の里の尾上に鹿ぞ鳴く入りぬる　　よみ人しらず

八幡山

嶺　寄
八幡山さかゆく嶺は越えはてて君をぞ祈る身のためにとて　　後久我太政大臣

鳩杖　新後拾遺
八幡山秋やむかしの鳩の杖　　源家長

松　新拾遺
八幡山神のかきねの松風にて　　源顕氏

淀　同
八幡山麓の松に淀の　　後京極摂政

橋　大本
八幡山よそに橋　　西行

里鶯　同
八幡山むかしの里の鶯の　　同

夜天　同
八幡山夜の月　　藤原家隆

鳩火　同
花咲かば八幡山の鳩　　後鳥羽院

鶴　同
八幡山松より羽　　同

八幡宮

祝　新続古今
松の八幡の宮居　　藤原定家

神跡　大本
八幡山の神　　後京極摂政

山田原　伊勢

茶　同　深く[illegible]八幡の茶[illegible]の縁と　後[illegible]

郭公 杉　新古今　きかすともこゝをせにせむ郭公山田の原の杉のむらたち　西行

鈴虫　同　鈴虫[illegible]山田の原の[illegible]　[illegible]

柿　同秋　[illegible]山田の原の[illegible]　[illegible]

鴫　玉葉秋　[illegible]山田の原の鴫[illegible]　源[illegible]

早苗　同　夕日さす山田の原の早苗[illegible]　[illegible]

若菜　新続古今　[illegible]山田の原の[illegible]　[illegible]

鶯 梅　夫木　鶯の[illegible]山田の原の梅[illegible]　[illegible]

杉　同　[illegible]山田の原の[illegible]　[illegible]

[illegible]　同　[illegible]山田の原の[illegible]　[illegible]

[illegible]　同　[illegible]山田の原の[illegible]　[illegible]

雪　同　[illegible]山田の原[illegible]　[illegible]

竹原　同　竹原[illegible]　[illegible]

湯田　同　[illegible]

松　[illegible]

山田里　新撰六帖　[illegible]山田の里[illegible]　[illegible]

八橋　参河

八橋にて

古今羇　から衣きつゝなれにし妻しあれは[illegible]　業平

[illegible]

[illegible]　詠けるよ[illegible]八橋[illegible]の[illegible]りん　[illegible]
[illegible]の[illegible]に八橋[illegible]

[illegible]　八橋の[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]八橋[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]の[illegible]八[illegible]の八橋　[illegible]

沼　柳

杜若　[illegible]　八橋[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]八橋[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]川の[illegible]の八橋　[illegible]

花　[illegible]　[illegible]花[illegible]川の八橋[illegible]の[illegible]　[illegible]

[illegible]　同　[illegible]八八橋[illegible]や　[illegible]

[illegible]　同　八橋[illegible]の[illegible]　[illegible]

駒　同　駒[illegible]八橋[illegible]　[illegible]

[illegible]　同　[illegible]八橋[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]八橋[illegible]の[illegible]　同

野洲　滋賀　郡名　近江

[illegible]　[illegible]野洲[illegible]　[illegible]

三上嶽　[illegible]三上嶽[illegible]野洲[illegible]　[illegible]

駒　[illegible]　[illegible]野洲[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]の[illegible]　[illegible]

柳　[illegible]　[illegible]の[illegible]の[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]野洲の[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　人[illegible]野洲[illegible]　[illegible]

橋 但 芳

魚菜 同

江鯛魚 同

亀 同

柳 香 同

鶴 同

野鳥 同

酒 同

守宮 同

井 同

虎賁

鷲 万葉集二

花 新勅撰集

法華経第六

如是展轉教

後撰 ゆくすえの千代まで君をかけて見ん　三條

新後拾遺 百年をへぬる神代の清きしるしとて湧る泉の名ぞ　古今集

新後拾遺 ながらへてかけにたのむの井はかはらぬ水の名ぞ　同

同 この井水のかはらぬ千代を君に見せ　藤原

玄々 春の海の花ちる泉の湧き清水は絶ぬ　後拾遺

山井

賢

後拾遺 清きこそ山陰ながら山の井の湧くかひあるかな　大江匡房

ケ書名下 この井水ながらの水に影しかば澄まぬ月の　藤原仲遠

後拾遺 ちぢの秋山の井は水ぬるかりけり　平忠盛

大田原

道永

新後拾遺 大田原の清き流れの底ぬけて　人麿

玉葉 清き流れの大田原の岩井の清水ぬるかりけり　藤原遠清

新後拾遺 わくらの山の大田原の月影やうつる清き流れ　藤原為家

同 大田原の清き流れの底ぬけて　藤原為氏

玄々 ながらの大田原の清き流れの底ぬけて　人麿

同 ながらの大田原の清き流れの底ぬけて　人麿

新後拾遺 有乳山の大田原の清き流れの底ぬけて　人麿

後撰 清き流れの大田原の岩井の清水ぬるかりけり　藤原遠清

玉葉 清き流れの大田原の岩井の清水ぬるかりけり　藤原為家

新後拾遺 わくらの山の大田原の月影やうつる清き流れ　藤原為氏

同 大田原の清き流れの底ぬけて　人麿

玄々 ながらの大田原の清き流れの底ぬけて　人麿

同 ながらの大田原の清き流れの底ぬけて　人麿

新後拾遺 有乳山の大田原の清き流れの底ぬけて　人麿

同 清き流れの大田原の岩井の清水ぬるかりけり　藤原遠清

横瀬

歌

宗祇法人　金子金吾

宗祇法師の俳人毎月の発句を集めて俳諧の発句を詠ずるを世に宗祇法師の俳諧と称す

初冬の俳諧

かなしみの俳諧に詠ずるを世に宗祇法師の俳諧と称す　寺田

布子の袖の俳諧　日

薩摩　日

桜の俳諧　日

宗長法師の俳諧　日

宗長の俳諧に詠ずるを世に宗長の俳諧と称す　能定

宗長の俳諧　日

宗長の俳諧に詠ずるを世に宗長の俳諧と称す　紀家

紀家の俳諧　日

宗祇の俳諧に詠ずるを世に宗祇の俳諧と称す　素堂

宗祇の俳諧　日

宗祇の俳諧に詠ずるを世に宗祇の俳諧と称す　元禄

俳諧　登春小

千年の松の俳諧　日　逸口貴

俳諧に詠ずるを世に俳諧と称す　元禄

氷室　お房

夜明け方に氷室の松の俳諧に詠ずるを世に氷室の俳諧と称す　弘事

雪　久子

雪の俳諧に詠ずるを世に雪の俳諧と称す　式内発

俳諧　日

俳諧の松の俳諧に詠ずるを世に俳諧と称す　猪平

桜の俳諧　日

川月　徒之助

三代の桜の俳諧に詠ずるを世に桜の俳諧と称す　倉田

花　新治郎

花の俳諧に詠ずるを世に花の俳諧と称す　能定

宗祇　安太郎

宗祇の俳諧に詠ずるを世に宗祇の俳諧と称す　吉田

雪　勢之助

雪の俳諧に詠ずるを世に雪の俳諧と称す　お房

松人　宗長

宗長の俳諧に詠ずるを世に宗長の俳諧と称す　おきく

宗長　宗長

宗長の俳諧に詠ずるを世に宗長の俳諧と称す　国通

松の俳諧　久子

千年の松の俳諧に詠ずるを世に松の俳諧と称す　国通

行幸　　松尾　　同

一条院御時松尾河辺行幸

千早振松尾の滝に流れ来る　源昌尾

月八日松尾神社に参詣　　行平

葵

賀茂

榊

赤玉垣宮　公頼卿

白帝　案

白雲　　同

大和野　　大和

麻　　白雲

大和　　いとやすく

葛藤　　

野路　　

菅

小菅之　日記　我隼人神社の前の小菅の笠とさしつかへて

深草　拾遺　年ふる事は深草の

蛙　六帖　蛙鳴く井の清水を分て出る

蔦　日　芦辺の蔦くれなゐの

蔦江　日　いかもしまの入江の蔦くれなゐ

雪江　日　しらやまの入江の雪の消ぬるは

雪池　日　白鳥の飛渡る池の雪

鶴　日　芦鶴の飛渡る池の

鷺　日　夕されば池の氷の

鶴尾　金葉　鶴鳴く入江の尾花

鶴巣　後拾遺　鶴鳴く入江の巣をとりあげて

浜雪　後千載　雪ふる浜の入江の

入江　後千載　松の入江の梅花

芦　新勅撰　乱芦の入江の

駒花　後拾遺　入江の駒やすらへて

菅原　金　久方の菅原の

深草江　玉葉　深草の入江の

古道　日　白雲の入江の

蔦　日　玉藻の入江の

真野　江　海　浦

鶴　後拾遺　鶴鳴く真野の

蔦　後拾遺　蔦の真野の

浜雪　後千載　浜雪の真野の

入江　後千載　入江の真野の

芦　新勅撰　乱芦の真野の

駒花　後拾遺　駒やすらへて真野の

菅原　金　菅原の真野の

深草　玉葉　深草の真野の

古道　日　白雲の真野の

蔦　日　玉藻の真野の

百敷の　同
雲井　同
聖　同
萩　同
鳴　同
菖蒲　同
舞　同
錦　同
唐　同
海老　同
高砂　同

笑窪　同
春　同
松　同
出

巻四　大和

穴師
若草
檜原松
万葉歌
高砂
松人

霧　夫木　[illegible]　よみ人しらず

岸　[illegible]　好忠

松本　[illegible]　赤染

秋　[illegible]　鴨長明

稲横　[illegible]　実家

呼鳥　[illegible]　季道

鶯　[illegible]　権僧正公朝

行幸　[illegible]　俊成

玉椿　[illegible]　よみ人しらず

[illegible]　大和

[illegible]　よみ人しらず

萩　夫木　萩か花ま袖にかけて高まとの尾上の宮にひれふるやたれ　顕昭

紫　同　[illegible]　為家

初　同　[illegible]　よみ人しらず

益田池　同

尊　[illegible]　よみ人しらず

鶯　[illegible]　[illegible]

菖蒲　[illegible]　[illegible]

苗代　同　[illegible]　[illegible]

鳴　同　[illegible]　[illegible]

真間　下総

江　井　浦　渚

奥槨 槙松　万葉之　勝壯鹿乃真間之手兒名之奥槨乎此間登波聞杼真木葉哉茂有良武松之根也遠久寸　赤人

同　我もみつ人にもつけむかつしかのまゝの手兒名かおくつきところ　同

玉藻　同　かつしかのまゝの入江にうちなひく玉藻かりけむ手兒名しおもほゆ　同

井　同上　かつしかのまゝの井みれは立ならし水をくましけむ手兒名しおもほゆ　蟲丸

駒　同　あの音せすゆかむ駒もかかつしかのまゝの継はしやますかよはむ　よみ人し

浦舟　新勅撰[illegible]　かつしかのまゝの浦間をこく舟の舟人さはく波たつらしも　同

継橋　続拾遺[illegible]　[illegible]まゝの継橋　[illegible]

月　後[illegible]　[illegible]まゝの入江の[illegible]月　[illegible]

撰人　[illegible]　[illegible]まゝの継橋　[illegible]

葛飾　同[illegible]　葛飾のまゝの浦風吹にけり夕波越て[illegible]千鳥　[illegible]

野　[illegible]　[illegible]　[illegible]

洲　同　[illegible]　[illegible]

芦濱　同　[illegible]芦[illegible]　[illegible]

玉柏　同　[illegible]玉柏[illegible]　[illegible]

湊漂　同　[illegible]　[illegible]

[illegible]人[illegible]　松鴻　法眼

又[illegible]

鴎　詞[illegible]　松鴻[illegible]　[illegible]

笠屋　新[illegible]　[illegible]松[illegible]　[illegible]

千鳥

藤

藤原定家

演劇

新潟

千変万化

卯花

美濃

柳貞

演劇

蘆 同
[illegible]の[illegible]松帆の浦[illegible]　道家卿

菊 同
[illegible]　為[illegible]

松 同
[illegible]　為[illegible]

真野萱原　読人[illegible]

玉葉
一[illegible]の萱原　定[illegible]

新古今
[illegible]の萱原[illegible]と　[illegible]郎

鳥
新後撰
[illegible]　家[illegible]

麻
文永
[illegible]　[illegible]

池
新拾遺
[illegible]の萱原[illegible]池の[illegible]　[illegible]

松帆浦　同
[illegible]松[illegible]

霞

宮

藤波

鶴

[illegible]

萩

擣衣

行[illegible]の[illegible]中[illegible]の松[illegible]て
[illegible]

[illegible]
[illegible]松帆の浦[illegible]　[illegible]

[illegible]
[illegible]松帆の浦[illegible]　[illegible]

[illegible]
[illegible]松帆浦[illegible]　[illegible]

[illegible]
[illegible]松帆の浦[illegible]　[illegible]

[illegible]
[illegible]萩の[illegible]松帆浦[illegible]　[illegible]

同
[illegible]松帆浦[illegible]　[illegible]

同
[illegible]松帆浦[illegible]　衣笠内大臣

待乳山　[illegible]

櫻
吉花
鳴
川
蔦
花
[illegible]
麻
小松原
駒野

新拾遺 [illegible]の[illegible]の櫻も[illegible] [illegible]
新古今 [illegible]の[illegible]も[illegible] [illegible]
續古今 [illegible]の[illegible] 天徳[illegible]
同 [illegible]の[illegible]川の[illegible] [illegible]
同 [illegible] [illegible]
新續古今 [illegible]花[illegible]の[illegible] [illegible]
[illegible] [illegible] 不[illegible]
春 [illegible] [illegible]
月 [illegible]の小松原[illegible] 永縁
月 [illegible]駒[illegible] [illegible]

筑波山 下總

唐衣
角田原
月
野射
麻
松

新勅撰 [illegible]山[illegible]越[illegible]角田[illegible] [illegible]
新拾遺 [illegible]山[illegible]越[illegible] [illegible]
松山
後撰
後拾遺 松山の松[illegible] [illegible]
新古今 [illegible]代[illegible]松山[illegible] [illegible]
新續古今 [illegible] 松山[illegible]麻[illegible] [illegible]
後撰 [illegible]
家 松山[illegible] [illegible]
同 松山[illegible]の[illegible] 同

[illegible]

松風

[illegible]

三貞

[illegible]

海儀

[illegible]

鄭鈞

[illegible]

別

[illegible]

唐

[illegible]

姥江

[illegible]

領巾振山

[illegible]

鏡神

[illegible]

玉藻里　同

麻

物翼集　六百番

原　寄

哭　同

玉藻　同

蜉　同

尾花野　同

繁　同

玉藻掛江　同

同

神渡　同

同

蜉

夕涼

繁

宮川

哭　同

宮　同

明　寄

氣色社　大隅

鶯 同 鳴ぬる鳥の杜に高く啼とも深く笹に隠れて　水隣堂
同 紅葉まいりきさん花の陰ちる鳥の杜の声とこそ聞　ことのは
初音 鳴べき鳥の杜の村雨に声のひとふし聞かまほし　御前堂
郭公 名所 能郭公 和泉式部
野 無明の闇に迷ひて物思へはおのれと見え
念仏 無量寿仏にそろへて救人をすくひ給ふなる
　竹取
野 紀伊二位方はりろうしそ
塚 無量の塚の数をしらく声は人に忘られ
花 無常に花移人の指をさして折ひしまや洋くそ

菜 六条 紅葉より摘ほうれるぬ日の松の葉をや　六角
郭公 おしれ川 和泉式部のまさるかなみ行まし池に聞く　永蔵
月 定家 七月七日の月にかくろへて無常を知ぬ
蕨 同 波の夜の月に手を濯ぎて松風にて月の影見る　同
子日松 六条 是にこそ世の中の無常を蕨のもえ出るやら　後撰
薄 同 無常や子日の松の世をへて松風吹　藤原為家
新枕 同 秋の夜の和泉式部の落葉を見れば物思ふ　清輔
巨椋江 三ツ橋川 落るらし悲しき世の無常の橋川に無常の池の浮むすび　紀貫之
昇庵 万葉 巨椋の入江にひくる是も人の移り行世を見ゆれ　伏見 星野 山村 浄同　ことのは

紫

花

名にしおひて伏見の里と云ふ身ハおもふかひなき身ハ也けり

うちむれし道の梅さく伏見の里の花さかりにて

伏見山ふもとの宮の里ハ今も

日くれぬさきにかへりてんとしらぬ

雑

鶯の人のかよひし伏見の里の名そ

花園に宿る伏見の里の女郎花

みやこへもほとゝきすよりなくなるに

名にしおふ伏見の里のあき風

者ともにといひけり

新枕

まくらにやとりて伏見の里に新枕

松

伏見山松の緑もかはらぬ色の

宇治

槇川橋

早苗

菖枕

鶉

門田

鴫

竹

浅茅

ふしみなる伏見の里に夜をへて

伏見の里に月をみて

伏見の里にすみて

伏見の里の月見れは

伏見の里にかよひて

伏見の里の菖枕

伏見山松風

伏見の里の門田

伏見の里の鴫

伏見の里の竹

伏見の里の浅茅

清水　初秋部に
本情　初秋部に
苔　初秋部に
貸　初秋部に
苔　日部に
行幸　初秋部に
蓮　雜部に
杜若　日
蛙　系
略　日
蓮　雜部に
蒲　雜部に

学　雜部に
柳　日
炭　日
駒　日
村　日
鹿　日
変　日
萩　日
草　日
小和歌　日
岸　日

墨色　日　一帯に貸人住屋の墨のつゆ中と申す歌さ詠ろ　竹之内
芦垣　日　芦伸さつ伏て介に繁へ伏て伏人住屋さ歌さ　新法師

深草　山野　同

梅川住居おれいさ梅いちさ方角ろ
久ろ河さ深草住居おもろ梅さ方ろ

実家　宗時卿と人清水の清水住居と歌さ詠て　俊頼髄

梅　日　深草住居に梅ゆ花ろ雲深きけ　工藤祐経

深草住居つの国さ方ろ

廃谷　日　芦深さ廃谷ゆ花ゆ行ゆ方ゆ　条家秀

日新ト　芦深く紅葉ゆ里ゆ行く深草ゆ秋　東平

日　野と申て歌ゆ行ゆ申ゆ方ゆ　法人

冬　日　夏ゆ代深草住居ゆ冬ゆ行ゆ　同

義孝　冬ゆ代ゆ住居ゆ梅ゆ方ゆ　孝標

冬　又の中納言義孝深草住居ゆ冬ゆ
行ゆ方ゆ冬ゆ申ゆ方ゆ

日家　芦深く苔ゆ方ゆ人の方ゆ深草住居　紀貫之

日ヲ下　深草ゆ苔ゆ方ゆ人ゆ方ゆ　高内侍

梅花　日　深草住居ゆ梅ゆ方ゆ人ゆ方ゆ　聖徳

梅花義孝卿　深草住居ゆ梅ゆ方ゆ

御言　日雅　古事ゆ方ゆ一部花園院ゆ深草住居ゆ方ゆ　院御製

忘日ゆ法花三昧ゆ方ゆ

八月ゆ方ゆ深草住居ゆ法花三昧ゆ方ゆ

芝下屋

雲

貸

二年秋の末つかた

行下屋

貸

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三月雪　同

松　同

滝谷　二ツ山　越中

鶯　同

梅木　同

三月雪　同

菊　同

紅葉　同

二ツ枝

三月雪

古河堂　同

柳　同

雪　同

橋　老て世を古川のるを橋と又ときをとひをとくをさ　紀の海

布留　滝　山野水　神宮　紀の海

仁和乃今てをとをとをたりをとをる

布留の滝をんしをおりをを

かをてをひをるをを

滝　同

橋　不二布留の滝をを氷ゐるをを下ゐをん　五条の橋

菊　嫁入捨て布留の滝を氷ゐをを下ゐをん　伊勢の国

四月

菜

板葉

新勅撰 光孝天皇

春の来ぬ布留の社の若菜摘む

新勅撰 藤原為家

春の来ぬ布留の社の若菜摘む

思ふ

早苗

三稿

沢菜

松

麻

月

新勅撰 藤原為家

春の来ぬ布留の社の若菜摘む

蔵人 わかやどの神とめ侍りける所にて 源重之
若葉 初夏 布留山 藤原実方朝臣
田蛙 同 布留の里の草深きひら地の河とかやん 同
尾花 集 鶴の巣布留の中道踏つひて尾花かれて鶴の巣 順法師
桔梗 布留河の辺杜の日数はこゝろ半より 二條院讃岐
萩 春 おれたるをこゝろとやせん布留の林枝 高階成章
穴師川 同 行の川布留山のそてをたゝとゝ水そ 慈円
芍薬 同 ふるの布留社後ゝ自ら花さかりなる 藤原雅経
桃の花 同 天津神布留山の桃の花 行能
杜 同 法社と布留社とやめて杜のこゝろ 宮内卿
沼菖蒲 同 ひてせきあつめて沼神のあやめ 和泉

三月尽 同 三月尽布留社の河なる三笠山とゝ 都為忠
春 同 相とは春の暮 藤原定家
布留の野 同 年ふる布留社の野辺の初花 源経光
刈萱 同 刈萱布留野の刈萱人とゝ 為家
紫草 同 紫草布留の林の紫草 任氏
布留野里 同 布留野の里 俊成
抄 同 布留の里抄 定家
初蕨 文治 千早振布留の中道とゝ 俊成

吹飯

乗雅 さ乗雅吹飯 俊頼
給 給 殿上人給 行宗

橋
芦
河
花橘
蛍
郭公
河
浜松

吹井　冊後

二見　山沖　河望　仙芳

貝松
伊勢河
蛤
月
橋
河

二見河月義河ゆうの春伊勢河をゆく郭公
ひとえ紅二見の浦の蛤と貝合せとて
はちすの葉をとり貝合せとて
貝拾ひとりくらべあるこころ
二見河中年比松ばかりにて神やまの月にしかん
はるかにて見し橋比花橘を二見とかけるこころ
はちすの葉は花とて九月ころ二見の里
はりはるよりのりとり盛りさかり橋を
一枚とせるこころ花とかけるこころ

二百人扶持の内
五百人扶持の内
五百人扶持の内
五百人扶持の内
五百人扶持の内
五百人扶持の内
五百人扶持の内
五百人扶持の内
五百人扶持の内
五百人扶持の内
五百人扶持の内
五百人扶持の内

仕舞
小太鼓
鳴物
同

仕舞記之は二百人より扶持のうちよりとる
わくらはは扶持の十種供出とて人々
ゆるとて扶持しとさるべきことに
なりひく穀屋とて扶持とは
扶持のうちの人々ことりとりあつかりて
なりとりとりとりとりとりとりとりとり

二百人宿　満茂

能楽場へ扶持のうちとりとりとりて

七月取れたる扶持のうちより五百人扶持の内より　善兵衛

二村山　冬川

おかやけの使ひて扶持人宿のうちより

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

水宮　〃　〃　〃

霰

初茶

小さの苗をとりて白髮日吉式舞とりあん　ふくん

乘りて宮のわらうら吉の式て

ちらうらうらあし

桑

ちりて折りひもとり行留式紅新緑紫野ゝ行　五長流

不破　長宏

松の一あるとうらうら女の長寿の

ゆゝ就式行らうらとしひゆゝ留らうら

雜部

とハて三場うり長式不破式花ゝ新ゝ

長寿

長寿りう不破式実家結びて長ゝとゝ

初ゝ式中

人ゝ留ゝ不破式実家式紅ゝ新ゝ

恵鎮

茶毘

義隆

義隆卷

義隆卷

新ゝ式ゝ

不破の実家ゝ行ゝ行らうら

ふくん

義隆卷

ゝ式ゝ行らうらゝ実越ゝ

ゝ式ゝ

ゝ式ゝ

ゝ式

美濃川　同
板　同
松原　同
野　同
中山　同
梁　同
伊吹嶽　同
朱色　同
関山　同

吹上　浜　岩　紀伊

美濃

藤代

野　同
紀伊
紀伊
紀伊

[illegible]

花　柔
ちるとも吹たる浜の風のうつる花情出うらさよ　竹後

海松　同
[illegible]　[illegible]人

草の色　同
[illegible]の吹たる浜の[illegible]の[illegible]月の[illegible]　[illegible]

尾花ぬ　同
尾花ちる吹たる小船とも海をゆくゆゆ[illegible]　[illegible]

松　同
[illegible]吹[illegible]松風の[illegible]月を[illegible]　[illegible]

伏屋　同
紅葉や[illegible]伏屋の[illegible]月[illegible]　[illegible]

浜庇　同
汐風の吹[illegible]浜庇[illegible]の[illegible]　[illegible]

葛　亮
吹[illegible]葛の[illegible]小船[illegible]　[illegible]

吹[illegible]　新撰亮
[illegible]吹[illegible]の[illegible]松[illegible]吹[illegible]の月　[illegible]

秋千集　冬

蛙　繁蓬云
[illegible]の[illegible]　為氏

山姫　同
山姫[illegible]の[illegible]　[illegible]

冬　同　繁蓬
色[illegible]　[illegible]

花紫　支子
[illegible]花[illegible]　為氏

松[illegible]　同
[illegible]松[illegible]　[illegible]

夏去　同
[illegible]　[illegible]

麻　同
[illegible]の[illegible]　[illegible]

橋　玉巻
橋[illegible]　[illegible]

本情　河上用心　同

川　本情川に八十うじ川をせかせて水を出し滝はせて　人麿

馬貸人　同　流れて本情の里に馬かして人をすゑ　人麿

同　前　をうつの貸人柳里の雪八本情の花をあてにして　赤人

持花　歩人はとうの雪をうつ花をくて本情の里へ行く匂ひ　乃氏

宇治路　宇治路は本情の雪をそそれて球の本情の雪と成りて　教政

梅　本情山にうぐいすの声聞かれて花の雪へやいん　知家

橋柳　本情山花の錦にとりて橋柳とそめなして　藤原為家

山吹　とし月の吹旬の人橋の小路の庵の山吹　人麿

山吹　吹旬小路の庵の山吹や八十うじ人はうしめん　為家卿

水　神の森の水にゆうん橋の小路の井也　藤原為家

宇治橋　橋の小路の庵の月気とゆうめや宇治の橋　為家卿

岩　同　風とうぐいす小路の庵よ行路の人てとて宇治の波　同

雪　雪　吹雪宇治の橋の小路の庵にあけの雪　定家卿

吹雪　柏山野　同

川　柏山野の郭の泉川にうぐいすの声　人麿

庵　柏の庵にうぐいす川の流れ　飛鳥井雅経

泉川柳　同　定家の流れのつゆとうぐいす柳の色　定家卿

花　泉川柳とうぐいす柳の色越く庵の花　定家

鶯声　泉川の花にうぐいす柳の色　定家

山桜　同　大和の山にうぐいす柳の色　飛鳥井雅経

麻衣　麻衣水にうぐいす柳の色　飛鳥井雅経

[illegible]

[illegible]

[illegible]

時　　　

伊豆国より文政年中の奉

三位のりくまさ卿

月やこゝろの武蔵の国の人の詠

四条宮

四条宮

小倉法皇

初撰

儀

藻

後鳥羽

三位

妹さま法皇

俊成

俊成

俊成

花

越山　越中　越前越後三国ヨリ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

雲丹　同　雲丹ハ海ノ内ニ出ル物ニ候ヘ共小丹和名抄ニ見ヘ申候

行沼　同　雲丹行沼海ノ沼ノ事ニ候ヘ共一系ニ成ル事

駒　同　駒ハ海ノ馬ニ候ヘ共海ノ馬ハ海ノ馬ニ成ル事

鯨　同　雲丹ハ海ノ鯨ニ候ヘ共海ノ人ニ成ル事

鯛　同　雲丹ハ海ノ鯛ニ候ヘ共海ノ鯛ニ成ル事